

「元気発進！子どもプラン（第2次計画）」個別事業の評価一覧

事業の評価											予算		担当課														
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進											予算・3次																
施策番号	事業番号	事業名	事業概要	令和元年度の事業計画	令和元年度の主な実績	【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善	予算事業名	3次プラン 取り組み No.	※赤字が評価 を記載した課											
						区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価					5ヵ年 評価の理由 (分府)	次達成 理由 達成 遅れ	課題や改善内容								
1	77	北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会の運営(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	全国に先駆けて、企業・働く人・市民・行政が一体となって設立した「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心に、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進に取り組む。企業等の事業者や働く人が働き方やライフスタイルを見直し、男女が共に働きながら子育てしやすい環境づくりを推進するため、企業への取り組み支援や広報啓発事業を展開する。	①WLB推進アドバイザー派遣事業の実施 ②企業等への出前セミナーの実施 ③ダイバーシティネットワーク活動 ④女性活躍推進取組支援事業 ⑤北九州イクボス同盟研修会等	①15社 ②13社 ③2回 ④2回 ⑤5回	研究会・企業への助言等	社務課	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年 評価の理由 (分府)	次達成 理由 達成 遅れ	課題や改善内容	ワーク・ライフ・バランス推進事業	178	総務・女性活躍推進課								
						【現状値】	24件 (H26年度)	36件	33件	35件	36件	37件		概ね達成	・企業へのアドバイザー等の派遣や各種セミナーの開催等の活用件数がほぼ目標どおりで、企業等の取組支援が進んでいるため、「概ね達成」と判断。	【課題】 ・女性活躍推進法上の協議会組織である「北九州市女性活躍・ワークライフバランス推進協議会」を中心とした市内推進体制をより充実する必要がある。 【改善】 ・市内企業等の意見を踏まえながら、効果的な推進体制について検討、改善する。											
						【目標】	40件 (令和元年度)	133%	89%	92%	92%	93%															
						達成率		133%	89%	92%	92%	93%															
1	78	ワーク・ライフ・バランス表彰の実施(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	子育て支援や男女が共に働きやすい環境づくり等に取り組む企業・個人等を表彰し、お手本としてその内容を広く紹介することで、企業等事業者や市民がワーク・ライフ・バランスに取り組むよう働きかける。	①第13回北九州市女性活躍・ワークライフバランス表彰の実施	①企業3社、個人1人の計4社(人)に表彰	表彰企業数(累計)	社務課	55社(人)	60社(人)	65社(人)	70社(人)	75社		概ね達成	女性活躍・ワークライフバランス表彰も着実に受賞企業が増加し、ほぼ目標通りの表彰数となっているため、「概ね達成」と判断。	【課題】 ・引き続き受賞企業のインセンティブを高め、受賞企業の拡大につなげる必要がある。 【改善】 ・受賞企業に関する情報発信の機会を充実する。		ワーク・ライフ・バランス推進事業	179	総務・女性活躍推進課							
						【現状値】	累計 50社 (H26年度)	54社(人)	60社(人)	64社(人)	68社(人)	72社(人)															
						【目標】	75社(累計) (令和元年度)	98%	100%	98.5%	97.1%	96%															
						達成率		72%	80%	85.3%	90.7%	96%															
1	79	企業や地域等でのワーク・ライフ・バランスの取り組み支援(仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)推進事業)	企業等の事業者に対して、仕事と子育て等との両立への理解促進や働きやすい職場環境づくりを働きかける。また、毎年11月をワーク・ライフ・バランス推進月間とし、その意義や必要性を企業等事業者や市民に周知する。 ○ワーク・ライフ・バランス推進アドバイザー派遣事業 ○企業等への出前セミナー ○子ども参観日 ○ワーク・ライフ・バランス新聞の配布	①WLB推進アドバイザー派遣事業の実施 ②企業等への出前セミナーの実施 ③ダイバーシティネットワーク活動 ④女性活躍推進取組支援事業 ⑤北九州イクボス同盟研修会等	①15社 ②13社 ③2回 ④2回 ⑤5回	研究会・企業への助言等	社務課	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度	評価	5ヵ年 評価の理由 (分府)	次達成 理由 達成 遅れ	課題や改善内容	ワーク・ライフ・バランス推進事業	180	総務・女性活躍推進課								
						【現状値】	24件 (H26年度)	36件	33件	35件	36件	37件		概ね達成	・企業へのアドバイザー等の派遣や各種セミナーの開催等の活用件数がほぼ目標どおりで、企業等の取組支援が進んでいるため、「概ね達成」と判断。	【課題】 ・ワーク・ライフ・バランスの実現にあたっては、企業の果たす役割が大きく、女性活躍推進法を踏まえ、両立環境の整備・女性従業員の人材育成双方の視点から企業をサポートしていく必要がある。 【改善】 ・企業ニーズをきめ細かに把握しながら、サポート策を充実するとともに、平成29年度に設立した「北九州イクボス同盟」などを活用し、企業等の働き方改革を後押しすることで、ワーク・ライフ・バランスの推進を図る。											
						【目標】	40件 (令和元年度)	133%	89%	92%	92%	93%															
						達成率		133%	89%	92%	92%	93%															



事業の価値											予算		担当課																	
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進											予算・3次		※赤字が評価を記載した課																	
【Plan】計画				【Do】実施					【Check】評価		【Action】改善		予算事業名	3次プラン 取り組み No.																
推進 番号	事業 番号	事業名	事業概要	令和元年度の 事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標	区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度				評価	5ヵ年 評価の理由 (分析)	達成 率	課題や改善内容											
1	81	有資格者の登録における社会的責任・社会貢献の評価	地元企業のワーク・ライフ・バランス推進等の取組を積極的に評価するため、入札参加資格業者の格付における主眼点の評価項目の一つとして「子育て支援・男女共同参画」を設け、要件を満たす場合に加点する。	①市入札参加資格業者のうち、ワーク・ライフ・バランス等の推進を行っている地元企業の増加を図る。	①市の入札参加資格業者に対する評価対象業者数 (物品等供給業者) H27年度:69社 H28年度:235社 H29年度:243社 H30年度:339社 R1年度:345社 (建設工事業者) H27年度:160社 H28年度:160社 H29年度:356社 H30年度:402社 R1年度:457社	①前年度以上(203社) ②前年度以上(229社) ③前年度以上 ④前年度以上 ⑤前年度以上	203社 (H26年度)	229社	395社	599社	741社	802社	113.0%	172.5%	151.6%	123.70%	108.23%	113.0%	172.5%	151.6%	123.70%	108.23%	達成	・物品等供給業者及び建設工事業者ともに評価対象企業数は増加し、ワーク・ライフ・バランス等の推進に一定の寄与はできていると考える。	・地元企業のワーク・ライフ・バランス等の推進を契約制度の面からも支援するため、引き続き加点制度を実施する。	予算なし	181	技能・契約制度課		
1	82	家族経営協定の推進	農家の意識改革を進めるため、家族全員の話し合いによって、休日・給料や仕事の分担などの取り決めを定める家族経営協定制度の普及・啓発を図る。	①農業生産者が集まる場にて啓発を行う。	①農業生産者が集まる会議等で啓発を行った。 ※今後は農家の要望に応じ対応することとし、推進目標は廃します。	家族経営協定締結数(延べ数) ①前年度 ②前年度 ③前年度 ④前年度 ⑤前年度	68件	69件	71件	71件	71件	71件	67件 (H26年度)	71件 (H29年度)	99%	99%	108.5%	108.5%	112.7%	94%	94%	108.5%	108.5%	112.7%	達成	家族経営協定制度の浸透が深まり、当初目標を1割以上上回る結果となった。	・本市の農業の振興のため、経営現状と労働実態を改善することは必須である。その中でも家族間の労働条件の整備は不可欠であると考えている。そのため、今後も事業の推進が必要であると考えている。 ・農業生産者が集まる場にて、積極的に啓発活動を行いたいと考えている。	予算なし		産経・農林課
2	83	男性の家事・育児参画促進(男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業)	家族を構成する男女が共に協力しながら、家庭での責任を果たしていくため、男性が仕事だけでなく、子育て等にも参画し、家庭等において積極的に役割を果たせるよう支援する。 ○男女共同参画センター・ムーブ等での男性向け家事・子育て関連講座	男女共同参画センター・ムーブ、勤労婦人センター、レディースにおいて、男性向け家事・子育て関連講座を開催する	15講座、904人	ムーブ・レディースでの男性向け家事・子育て関連講座開催数 ①前年度 ②前年度 ③前年度 ④前年度 ⑤前年度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	15講座 程度	21講座 (H26年度)	15講座	100.0%	113%	113%	113%	100.0%	100.0%	113%	113%	100.0%	達成	・計画期間中すべての年度において、策定時の計画目標を上回っているため。	・引き続き、ムーブ・レディースでの男性向け家事・子育て関連講座を実施し、男性の家事・子育てなどへの参画促進に向けた取組を進める。 ・参加者アンケートやトレンドなどを踏まえ、事業・講座の内容などの見直しの検討を随時行う。	男女共同参画センター及び勤労婦人センター管理運営事業(指定管理)	182	産経・男女共同参画推進課	

事業の価値											予算		担当課								
■ 施策(5) 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進											予算・3次		※赤字が評価を記載した課								
【Plan】計画				【Do】実施						【Check】評価		【Action】改善		予算事業名	3次プラン取り組みNo.						
指し番号	事業番号	事業名	事業概要	令和元年度の事業計画	令和元年度の主な実績	活動指標	5ヵ年					評価	理由(分析)	達成・概ね達成・やや遅れ	課題や改善内容	予算	3次				
						区分	27年度	28年度	29年度	30年度	令和元年度										
2	84	地域における男女共同参画推進啓発事業	地域における男女共同参画の推進を図るため、地域で活動している団体・グループ等と協働しながら、市民や若い世代が共感できる広報啓発活動に取り組む。 ○男女共同参画フォーラムin北九州開催支援 ○男女共同参画に係る広報啓発事業 ○若年層向け広報啓発事業	①男女共同参画フォーラムin北九州を開催する ②男女共同参画に係る広報啓発事業を実施する	①37回、3,056人 ②28回、1,118人	「男女共同参画フォーラムin北九州」「男女共同参画に係る広報啓発事業」の実施回数 【現状値】 63回 (H26年度) 【目標】 同水準	目標値 前年度(63回)同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	前年度同水準	達成率 100.0%	達成率 103%	達成率 108%	達成率 98%	達成率 103%	達成	・計画期間中すべての年度において、策定時の計画目標を上回っているため。 ・引き続き、北九州市女性団体連絡会議と協働で「男女共同参画フォーラムin北九州」を開催する。また、NPO等と協働で広報啓発事業を実施する。 ・さらに幅広い層の市民の参加を促すための効果的な事業広報や実施内容の見直しを行う。	地域における男女共同参画推進啓発事業	183	総務・男女共同参画推進課
2	85	小中学生向け副読本作成活用事業(男女共同参画基本計画推進事業)	次世代を担う子どもや若い世代が、性別にかかわらず個性と能力を發揮していけるよう、小中学生向け副読本の活用等を通じて、子どもの頃からの男女共同参画の理解の促進に取り組む。	①小学生用「レッツ」、中学生用「ひびき愛」を配布し、教育委員会と連携して、教育活動での活用促進を図る。	①小学生用「レッツ」、中学生用「ひびき愛」を配布した。	副読本配布率 【現状値】 配布 (H25年度) 【目標】 現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持	達成率 100%	達成率 100%	達成率 100%	達成率 100%	達成率 100%	達成	・計画期間中すべての年度において、策定時の計画目標を上回っているため。 ・引き続き副読本を作成・配布する。	男女共同参画基本計画推進事業の一部		総務・男女共同参画推進課 教育・指導第一課
2	86	父親になる人への情報発信	子育ては、一人一人の子どもの成長に寄り添うたことない機会である。男性に育児をより楽しんでもらうため、妊娠・出産、そして子育てに関する情報を父親の目線で発信する。	①男性向け子育て情報誌の配布	①国、県、市が作成した男性向け子育て情報誌を配布。	男性向け情報誌の配布 【現状値】 — 【目標】 配布	配布	配布	配布	配布	配布	達成率 —	達成率 —	達成率 —	達成率 —	達成率 —	達成	・計画期間中、すべての年度において情報誌を配布し、妊娠・出産・子育てに関する情報を周知できた。 ・引き続き、情報誌を配布し、男性に妊娠・出産・子育てに関する情報を発信する。	予算なし	184	子育て支援課
2	87	男2代の子育て講座(子ども館・子育てふれあい交流プラザ運営事業)	1歳未満および1年以内に誕生予定の子の父親または祖父を対象に、助産師や看護師、子育て支援関係者を講師に迎え、育児に必要な実習を交えた体験型講座を実施し、男性が子育てに参画することの意義や効果を伝える。また、講座終了後には「ハバンエ」「ソリエ」の認定証を授与する。	①子育てふれあい交流プラザでの開催(10月) ②子どもの館での開催(2月)	①子育てふれあい交流プラザでの開催(11月) ②子どもの館での開催・・・非開催	男2代の子育て講座の開催回数 【現状値】 2回 (H25年度) 【目標】 現状維持	現状値 同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	前年度比同水準	達成率 100%	達成率 100%	達成率 100%	達成率 100%	達成率 50%	概ね達成	令和元年度は子どもの館において非開催となったが、毎年、両施設で開催できているため、「概ね達成」とした。 ・より多くの講座受講者を確保するため、引き続き指定管理者と協力し、魅力的かつ効果的な講座の開催に努める。	子どもの館・子育てふれあい交流プラザ運営事業	185	子育て支援課